



みさき 議会だより

ホタルの舞うふる里へ
坂本・坪谷川のホタル

第100号 平成27(2015)年 7月号

主な内容…議会だより第100号特集・議会報告会
平成27年度6月定例会・特別委員会

写真 相沢スタジオ提供
題字 湯谷 栗原和子さん



みささ議会だより 100号発行

昭和59年5月創刊から31年

「みささ議会だより」
さんにご登場、ご
申し上げます。
引き続き議会



創刊号発行 昭和59年5月発行

「地域民芸品保存伝習施設」オープン（通称 みささ美術館）

- 新札発行
- グリコ・森永事件



第18号 平

「ふるさと健

- 皇太子・雅
- サッカー」



第3号 昭和60年6月発行

天皇陛下、三笠宮殿下、高円宮殿下来町

- 国際科学技術博覧会「科学万博—つくば'85」開催
- 男女雇用機会均等法が成立



第22号 平

「国民宿舎ブ

- 「町総合文化
- 阪神・淡路
- 地下鉄サリ
- 重軽傷)



第8号 昭和63年5月発行

温泉広場に大久保左馬之祐と白狼像完成

- 世界最長の青函トンネル（58.85km）開通
- 東京ドームが完成



第26号 平

「三徳山ウォ

- 冬季長野オ
- 第16回サッ



第12号 平成2年6月発行

フランス国ラマルー・レ・バン町と友好姉妹都市提携

- 礼宮文仁親王が川嶋紀子と結婚
- バブル経済崩壊で株が暴落



第39号 平

三徳山世界遺

- 東京デイズ
- ユニバーサ



第13号 平成2年12月発行

「みささ図書館」開館

- 宇宙探査機ボイジャー1号が初の太陽系の写真を撮影
- ポール・マッカートニー初来日公演



第49号 平

合併協議会解

- 郵政事業庁
- オレオレ詐



第16号 平成4年11月発行

町立福祉センター「レスポワール」完成

- 日本人宇宙飛行士・毛利衛が宇宙へ出発
- バルセロナ五輪で14歳の岩崎恭子が金メダル獲得



第54号 平

三朝バイパス

- 新潟県中越
- 鳥インフル

より」は今号で記念すべき「第 100 号」となりました。創刊号以来 31 年、これまで多くの町民の皆
寄稿いただき、記念すべき 100 号を迎えました。町民の皆さんをはじめ、先輩議員の皆さんに感謝
だより発行にご協力、ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。
議会広報常任委員会委員長 山 口 博

成 5 年 5 月発行
「健康むら」オープン
子さま御結婚
リーグ開幕



第 61 号 平成 18 年 4 月発行
三徳縁御幸行列が 50 年ぶりに復活
■トリノ冬季オリンピック開幕
■日本の 65 歳以上の人口率が世界最高
15 歳以下の人口率が世界最低に

成 7 年 5 月発行
「ランナールみささ」オープン
「ホール」開設
大震災
ン事件（13 人が死亡、5,510 人が



第 66 号 平成 19 年 7 月発行
台湾台中市石岡郷（現石岡区）と交流促進 7 月 協定締結
■第 1 回東京マラソン開催
■新潟県中越沖地震が発生

成 10 年 9 月発行
「キングセンター」完成
オリンピック開催
カーW杯仏大会に日本が初出場



第 73 号 平成 21 年 4 月発行
三朝のジンショが国の重要無形民俗文化財に指定
■鹿児島市の桜島が爆発的噴火
■裁判員制度による初の裁判が始まる

成 13 年 7 月発行
産登録推進運動スタート
ニーシーグランド開園
ル・スタジオ・ジャパン開園



第 90 号 平成 25 年 4 月発行
みささこども園新築
■富士山が世界文化遺産に登録される
■出雲大社と伊勢神宮がそろって遷宮

成 15 年 10 月発行
散、町は単独存続を決める
が日本郵政公社に
欺が横行



第 96 号 平成 26 年 7 月発行
「三朝 温泉ほっとプラ座」竣工
■ソチ冬季五輪開催、金 1 個、銀 4 個、銅 3 個獲得
■富岡製糸場が世界文化遺産に登録
■御嶽山が 7 年ぶりに噴火し、50 人以上が死亡

成 16 年 10 月発行
開通
地震（死者 68 名）
エンザ

引き続き町民の皆さんに読んでいただける、身近な
議会だよりの発行に努めて参ります。
議会広報常任委員会委員一同

平成27年度

第1回

議会報告会



今回の議会報告会は新しい取り組みとして、予算審議の内容等の説明会・議員との意見交換会という2部形式でやってみようということになり、広く、町民の方々の意見を聞き、各議員が私見を述べ、町民との一種「タウンミーティング」的な報告会としました。

これまでは町民の声を聞くだけで『持ち帰って検討します』あるいは『役場に報告しときます』という判で押したようなことしか言えませんでした。今回は、私見ではありますが……と前置きはするものの、なかなか盛り上がりを見ることのできた会であったように思います。

では、この報告会で出た町民の意見を紹介させていただきます。

農業関係

- 農業問題、高齢化に伴う耕作地の増大の懸念大きな視点で対策を考えるべきだ。(三徳)
- グリーンサービスの方向性を考え直すべきだ。(三徳)
- 三朝米・神倉大豆などの地元食材のブランド化など評判を生かすべきだ。(三徳・賀茂)
- 「きぬむすめ」の助成金は復活させるべきだ。(高勢)



ブランナール関係

- 利用者目線で考える必要がある。(三徳)
- 経営状態はどうか。(高勢)
- 町からの資金投入は。(高勢)
- 交通安全協会会員に特典があるのは本当か。(高勢)
- 今後の方向性は。(小鹿・竹田)
- 民間活力導入を検討しているということでは赤字が増えたからではないか、企業努力を十分やったか。(竹田)
- クオリティ（主に料理）を高めるべきでないか。(竹田)
- 従業員に危機感がないのでは。(竹田)
- 役場職員が率先して顧客獲得の努力をすべきでないか。(竹田)
 - 早く手放す方向で考えるべきではないか。(竹田)
 - ブランナールの弁当はとてもよかった、もっとPRしてはどうか。(竹田)



多くの意見ありがとう
ございました。

観光・商工関係

- キラリと光る町づくり支援事業については複数回支援が受けられるようにしてもらいたい。(みささ)
- キラリと光る町づくり支援交付金事業についてなぜ中高生の実績がないのか。(高勢・小鹿)
- キラリと光る町づくり支援交付金事業はもっと使い易くできないのか。(竹田)
- 永楽庵跡地の駐車場に池を残したのはなぜか。(高勢)
- 地域おこし協力隊の姿が見えない。(高勢)
- 観光協会の組織・体質を見直す時期に来ているのではないか。(小鹿)
- 日本遺産認定が町民の恩恵につながるように検討すべきだ。(三徳)
- 永楽庵跡地駐車場ができたが違法駐車は解消されないし、駐車場はガラガラの状態だ、使い方の検討が必要ではないか。(みささ)
- 陣所の人手不足が深刻な状況だ。後継者育成や体験型の参加者募集など新たな取り組みを検討する必要がある。(みささ)
- 三朝温泉の客数は33万人程度で低迷している。対策を講じるべきではないか。(高勢)
- 観光協会と旅館組合は別組織か。一緒になるべきではないか。(高勢)
- ある旅館は日本一予約の取れにくい宿になっているがネットをもっとうまく活用出来ないか。(竹田)
- 中国人の爆買い(カード決済)狙いは出来ないのか。(竹田)
- ゴルフ場の状況はどうなっているのか。(小鹿)
- 三朝町の観光産業はラジウム温泉におんぶにダッコの状況だ。紹介できるガイドを養成すべきではないか。(小鹿)
- 旅館に入るまでの時間がつぶせない(遊べない・見るところがない)対策は。(小鹿)
- ちょっとお茶でも飲むところがない。(小鹿)
- 小鹿溪の活用をもっと図るべきだ。(小鹿)
- 三朝高原の道では景色が見えない状況にある(樹木が生い茂っている)どこに要望を出せばいいのか。(小鹿)
- 災害の少なさをPRして疎開先として契約を取れないか。(賀茂)



その他

- AEDの使い方は。(賀茂)
- 防災行政無線はほんとうに大丈夫か。(賀茂)
- 広報誌をもっと見やすくわかり易く。(賀茂)
- 岡山大学医療センターの今後は。(賀茂・高勢・みささ)
- 地域協議会の補助金はどうあるべきと考えるか。(小鹿)
- 議員研修で過疎対策等を調べてその結果をアドバイスしたり出来ないか。(竹田)
- 地域活性化のために多用な知識・技能を有する人材を掘り起こし、人材バンクを行政主導で構築してほしい。(三徳)
- 学校統合問題で跡地利用を考えていきたい。(小鹿・三徳・竹田)
- 環境美化促進地区を考え直してもらいたい。(みささ)
- 地方創生の取り組み状況は。(みささ・賀茂)
- 雇用促進住宅はどうなっているのか。(高勢)
- 駐車場にトイレは必要だ。(みささ)
- 正善院に予算を投入するのは問題だ。(高勢)
- 教科書採択に関する陳情が不採択となったがその理由は。(みささ)



常任委員会で 慎重審議 委員会における主な質疑

総務教育常任委員会

「笑顔いっぱい子育て支援 のまち」宣言を採択!

危機管理課

消防主任について

(委員) 専任の消防主任がいないようだが。

(回答) 防災行政無線、要援護者対策など危機管理課の業務が今までにない業務が増えてきている。消防主任を専任してしまうと他の業務に対する主査・副査を含めて回らなくなるため、今はこのような形で様子を見ている状態です。

(委員) 全国女性消防団員の佐賀大会に行く理由は。

(回答) 佐賀大会については、今年の4月に消防協会より全国大会に参加される団体に参加意向の再確認がありました。消防団に諮り参加することとしました。

子育て健康課

支援内容の充実について

(委員) 子育て包括支援センターなるものは立ち上げる気はないか。

(回答) 支援内容の充実は大事な部分であると思います。現在の限られた人材と資源の中で効率的に行っていきます。母子保健を担当する保健師、関係課とも連携を図って行きます。

指定管理者と町との修繕の線引きは

(委員) 賀茂保育園の指定管理者と町との修繕の線引きはどうなっているのか。

(回答) 大規模な修繕(費用面)については町で実施することになっています。このたびのウッドデッキ改修は町で実施します。

「笑顔いっぱい子育て支援のまち」宣言について

(説明) 子育て支援のまちとしてイメージを作って発信する方法だと思っています。PR動画を作成し、ポータルサイトや町のウェブサイトに載せることを考えています。この他の有効なPR方法についても、担当課で協議していきます。

教育総務課

小学校統合準備委員会の状況について

(委員) 準備委員の内訳は。

(回答) 保護者会長3名、校長3名、地域協議会長6名、その他に3名の15名です。

産業民生常任委員会

森林ICT事業～森林情報の「見える化」～に取り組む

企画観光課

コミュニティ助成事業補助金 250万円

(委員) 足湯セットの利用頻度は年間どの程度見込んでいるか。

(回答) 事業主体であるみささ村地域協議会で年2回程度、その他に協議会と町が連携して町内外の誘客イベント等に出かけ利用していきたい。

三朝温泉誘客キャンペーン支援事業

(委員) 開湯850年祭にちなんだ、850円宿泊プランの進捗はどのようなになっているのか。

(回答) 募集は締め切っており、約15,000件の申し込みがありました。7月中旬までの日程で宿泊が始まったところです。

農林課

森林ICT推進事業 2,100万円

(委員) ICTのデータは町と森林組合が持っているものを重ねるのか。その作業は誰がするのか。

(回答) 町が持っている林道関係のデータ、県が持っている森林簿等のデータ、また森林組合が持つ施業関係の履歴や経営計画等のデータを重ねることになります。事業主体は町ですが、業務は業者に委託します。

林業創生オーストリア技術導入推進事業 75万円 オーストリア林業調査に派遣

(委員) 三朝町は「湯の町、山の町」であり、山を活用した「公園化」のような、山を共有(地域と観光面)していく考え方を勉強してきてほしい。

(回答) 言葉でいいますと、「学び」「体験」「楽しみ」といったことがキーワードになります。ぜひ、そのような視点でも勉強したい。

建設水道課

環境保全対策費 119万円 小型合併処理浄化槽を整備

(委員) これは小型合併浄化槽が1件増えたということか。

(回答) 新たに地元から10人槽の要望があり、その分を計上しました。

設置しました 特別委員会

地方創生調査 特別委員会

平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法が制定されました。これは人口対策、経済対策等を元に、国民一人ひとりが夢や希望を持ち、住みよい環境を確保し、あらゆる面に対して魅力ある地域を創出していくこと。これを総合的かつ計画的に実施することを目的としています。

そして、平成27年度から5年間の地方版総合戦略に対して国が支援することとなっています（新しい交付金）。平成27年度中に自治体は国へ対して総合戦略を提出することとしています。この創生法に対し我が議会として特別委員会を設置し、町民の福祉向上のために、地方創生としての提案をしていきます。

委員長 吉田道明
副委員長 中信貴美代
委員 牧田武文
平井満博
石田恭二
福田茂樹



学校跡地調査 特別委員会

今年の3月に学校跡地調査特別委員会が設置されました。6人の委員としては9月頃までを目途に、住民の意見、要望を伺い、また先進地視察等を行いながら、委員会としての方向性を提案したいと思います。

本町においても人口減少、少子高齢化が進展し児童生徒の減少により平成30年までに3つの小学校が統合することになりました。3校においては地区の中心部に立地し廃校で放置されることは地区、集落の衰退を大きく加速させる恐れがあります。地元の共有資産として校舎を残す要望も高く、地元の意向を配慮した有効活用が図られるよう、地元の意向や思いを取り入れた活用計画が大事と思われれます。

当委員会では学校跡地活用の意義・必要性・課題・用途種別や動向を体系化し、特にその活用に顕著な事例を紹介し、方向性を模索することで、今後の廃校活用を地域政策の中に位置付け、三朝町にとっての参考資料になる方針を議長に対し報告します。

委員長 能見貞明
副委員長 池田雅俊
委員 藤井克孝
清水成真
山口博
福田茂樹



水道事業

問 今後の上水道・簡易水道のあるべき姿は

答 今後とも安全でおいしい水を安定的に供給していく

福田

三朝町の今後の上水道、簡易水道のあり方を伺う。三朝町の上水道の水源施設は1カ所、簡易水道施設は36ヶ所である。昨年度、約1,500万円をかけて上水の新たな水源開発をしたが、その開発に至らなかった。今年度も約2,800万円予算計上されている。町は深井戸を何本も掘ればよいというものではなく、水量のあるところを確保した上で、水のろ過も視野に入れるべきでないか。

町長

天神川の河川水を利用し、膜ろ過を行い、浄水池からポンプで配水する方式は、建設費が莫大で維持管理費用も多くかかるため、本町の上水道区域の給水規模からは困難であると考える。

簡易水道及び飲料水供給区域への安全な飲料水の供給につ

いては、各施設において、今まで水質基準値を超え、水質が悪化している施設はない。

○深井戸の水が安全な水とは限らないのでは

福田

2本目の深井戸を掘った時、水量はあるものの、水質基準にあわなかった。2年間で約4,000万円余りのお金をかけて、その水が飲めるのか確実性がないのでは。

町長

飲料水に適合する水は色々な条件をクリアしなければならない。水道担当課としては、安全な水を得るために深井戸を掘って水源を確保することに重点を置いている。

○簡易水道の上水道への接続はどうか

福田

上から下に流す。動力は要ら



福田茂樹議員

ない。その考えからすると、簡易水道部分での水の確保を、権利を買ってでも、町がしていくべきでないか。

町長

簡易水道の水源において、いい水という場所については、一度交渉に入らせて頂いたが、交渉は調わなかった。しかし、簡易水道からの接続で水量を確保していくことは、今後検討していく。

ブランナール

問 今後の経営方針は

答 今年度のなるべく早い時期にある程度の方角性を示したい

福田

国民宿舎事業の今後のあり方について、町長にお尋ねする。

今年の2月の産業民生常任委員会協議会で、国民宿舎事業への民間活力導入に関する検討状況及び今後の方角を報告された。

平成27年度に民間活力可能性調査を実施し、今後の運営方針について決定。民間活力導入の方角を決定した場合は、できるだけ早く導入による経営革新効果を上げられるよう導入に向けた準備作業を早急に行い、早期の民間活力を図ることとする。

ということであった。なぜ今の時期なのか町長に伺う。

町長

ブランナールみささが三朝温泉の核として、コンベンション機能を生かしながら、その能力を十分に発揮し、町民や地域に貢献し続けているかということである。そのため、民間活力の導入も含め検討をするための調査を進めている。

○一步を踏み出す勇気が必要

福田

町長を初め約100人からの町職員、ブランナールの職員の方

がみんなでやるんだという気持ちで一步踏み出す勇気が必要と思うが。

町長

もう一步踏み出す、もう一步踏み込む。そして、この施設が生かされていく、生きていく気持ちをもっと持っていきたい。

○方角の決定は今年度中か

福田

6つの選択肢のなかでの方角の決定は、今年度の早い時点でされていくのか。

町長

三朝温泉にとって、また町民にとって、どのような方角がよいのか、今年度のなるべく早い時期に、ある程度の方角性を示したい。

合谷地区との 確執について

問 合谷との問題解決をどう図るのか

答 町民に納得してもらえぬ解決を模索する

○確執の発端は

池田

町と合谷地区との確執について、未だ解決を見ない現状を憂い、あえて町の姿勢を問う。この確執の発端は何であるのかを明確に示して頂きたい。

○同意を得ず編入

町長

国立公園編入計画が県と町に示されたことを受け、対象エリアとなることとなった集落へ説明に行ったが、合谷地区からは、区の総意として同意しないという意思表示を受けていた。理由は、要望段階で対象集落への説明を行い、同意を得るべきであった、と指摘された。また、県立自然公園から国立公園になることに伴い、規制等が更に厳しくなるのでは、という懸念を払拭できる説明が十分でなかった為、結果として同意を得ないまま編入に至ったという経緯である。

○地区との問題は福祉問題

池田

社会福祉では、コミュニティーオーガニゼーション、グループワーク、ケースワークの3つを〈福祉の3大アクション〉と言い、この合谷地区との問題は、ただ単に町と一地区との小さな問題と捉えるのは大きな間違いで、住民の一番身近なコミュニティーとの関わりを左右する、地方自治及び福祉問題の根幹を揺るがしかねない重要な問題である。

○「良好」と「納得」

町長

合谷地区との問題解決に向け、要望に添えるようにと検討を重ね、提案をしているが残念ながら解決には至っていない。町としても、これは、重要な問題であると考え、町と区との良好な関係の構築に向けていききたいと同時に、町民皆さんにも納得してもらえぬ形での解決でな



池田雅俊議員

.....

くてはならないと考えている。

○高らかに

池田

今日は、傍聴の方もたくさん来ておられます。町長、高らかに、合谷地区とお互い納得いくようないい話をします、という宣言をして頂けたら、と思います。

○胸襟を開いて

町長

合谷の皆さんとしっかり話し合って、十分、胸襟を開いて、解決に向けて努力していきたいと思う。

理・監督する総務省中国総合通信局は150MHzではキャリアセンスと言って、電波が、まったく届かない状況が、必ず、起きると言っているが、広島市で起きた大災害を想定しなくていいのか。

○契約相手を信じる

町長

しっかりした会社で、実績もある会社なので、契約相手を信じている。

防災行政無線 デジタル化事業 について

問 この方式で本当に大丈夫か

答 契約相手を信じているので大丈夫

○安心と安全の確保

池田

町民の安心と安全の為、平成26年度当初予算で9億6千万円を計上したこの事業について問う。一般に、防災無線とは、60MHzの電波のことを言いますが、今回、町が行おうとしているのは、60MHzと150MHz(簡易無線)との併用ということで

すが、なぜ、併用なのか。

○特性と基準を勘案

町長

60MHz、150MHzそれぞれの電波の特性と電波使用の基準を勘案し、組み立てたものである。

○キャリアセンスの心配は

池田

中国5県の電波・通信を管

三朝町の明日に期待

総合戦略

問 特色ある創生総合戦略の策定を

答 三朝町の将来を見据えた活性策を

○三朝町の総合戦略策定の進捗状況と目指す方向は

山口

三朝町の総合戦略策定の進捗状況はどのような現状か。具体のスケジュールと三朝町が目指す総合戦略の方向は。

○三朝町の将来を見据えた青写真を

町長

4月22日に庁舎内に各課室長級23人のメンバーで総合戦略草案検討プロジェクトチームを立ち上げ、本町の現状と将来を予測しながら各担当分野の施策を検討し、人口ビジョン案、総合戦略の「骨子案」の策定に向かっているところである。

9月議会に大まかな提案をし、意見を聞ければと思っている。

目指す方向としては本町の将来人口、社会構造を見据え産業振興策、地域活性策へ向けて青写真を描きたい。

○総合戦略策定チームには多様な者の参画で町民に当事者意識を

山口

策定作業チームには多彩な人材による多様な意見の集約が必要と考える。特に次世代町民の参画が重要と考える。

策定作業の進捗状況を随時町民に示し、町民の皆さんの当事者意識醸成が大切だ。

町長

策定チームには産業分野、教育・研究機関、金融機関、労働団体やメディアなどの皆さんに入ってもらえればと思っている。

策定段階から町民に進捗状況を示し、当事者意識を持ってもらうことは非常に重要と考える。

○他町がうらやましがら総合戦略の策定を

山口

住民参画で地域の特色や地域資源を生かした住民に身近な総合戦略の策定を望む。

日本遺産に認定されたことも三朝町にとっては大きな財産であり、大いに活用して欲しい。

○三朝の取り組みに注目

町長

三朝の取り組み例が県議会でも取り上げられており、今後さらに強化していくこととなる。



山口 博議員

地域おこし

問 地域おこし協力隊の顔が見えない

答 隊員の活動の一層充実に

○地域おこし協力隊の顔や活動が見えない

山口

町民から地域おこし協力隊員の顔や活動が見えないとの意見を聞く。

三朝町のために頑張っている地域おこし協力隊員を町民が認知し、活動を支えることが必要ではないか。

○観光分野と農業分野で頑張っている

町長

大阪府出身の観光分野担当は開湯850年記念事業の企画運営と情報発信に携わり、関係者との連携調整役を果たした。

県外での観光PRや旅行社説明会参加などに取り組み今後の事業展開に期待している。

福岡県出身の農業分野担当は農業生産現場で作業支援や三朝米の商品化に努力している。

三朝米の販売では「三朝町のおみやげ」として試験販売に取り組んでいる。

○隊員の定期的な活動報告を

山口

隊員の活動を町報等で随時紹介することが必要ではないか。

○地域おこし協力隊の一層の活動充実へ

町長

隊員は積極的に地域に飛び込み、町民と協働することが必要と考える。

さまざまな機会を通して隊員の活動充実に努めたい。

地方版総合戦略 の策定について

問 現状と数値目標とそれに向けて努力をしていく仕組みは

答 人口をはじめ、いろいろな数値をとどまる形にしていく施策をつくりたい

○策定の推進組織は

清水

策定プロセスは、幅広い年齢層からなる住民をはじめ、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディア（産官学金労言）等で構成する推進組織で、その方向性や具体案について審議・検討するなど、広く関係者の意見が反映されるようにすることが重要だが？

町長

秋には、様々な分野からの専門家で構成する推進組織で、審議検討していく。

○金融機関との包括連携協定は

清水

三朝町の金融機関と「包括的連携協定」を締結する考えはあるのか。

町長

産業振興の分野に於いて、今後ご意見を伺いながら図っていくという方向で進みたい。

○「基本目標に置ける数値目標」は

清水

「基本目標」をどういった目標にされるのか、また、今後目標達成のために、どのような施策を実施されていくのか。

町長

基本目標は今後、骨子(案)を示させて頂く中で揚げていく。方向としては、本町のような小さい自治体だからこそ出来るキラリと光る魅力ある町づくりに向かって参りたい。

○「しごとづくり」の考え方は

清水

「しごとづくり」について、我が町三朝町において、どのように考えておられるのか。

町長

地方創生に取り組むためには、仕事の観点は重要な要素であり、観光と農林業をはじめとする地域産業の振興と雇用の創出は大きなテーマとなるものと考えている。

○「人口ビジョン骨子(案)」は

清水

人口ビジョン骨子(案)とはどういうものか。

町長

例えば転出されている方、主に20代から30代が多いわけですが、その方が三朝町へ帰っていただけるような施策をした場合には、将来人口がどう変わっていくとかというところを今検討している段階である。

○「総合戦略の数値目標」は

清水

総合戦略案の数値目標として、人口推移の数値を出したのか。

町長

各施策につきまして、それを具体的な実効策として示させていただきなればならないという総合戦略の中で、各実効策につきまして、今の実態がどのような数値を設定して目標にしていくのかということを各政策ご



清水成真議員

.....
とに定めてまいりたい。

○「ブランナールみささの民営化」

清水

総合戦略案の中に、ブランナールみささの民間活力導入を入れる考えは？

町長

素晴らしい業者との出会いに恵まれば、総合戦略に組み込むことができると思う。

○「総合戦略の目的」は

清水

安易な総合戦略の数値目標を立てるべきではないと思うが。

町長

長い年月、歴史を積み重ねてきた我が町の人々の生活、それはもう厳然たる事実のものでありますから、そうした上に立脚をして、しっかり検証しながらことに当たっていくというふうにしなないといけないと思っている。

シリーズ 町民登壇 ～私の思い～

求められるチャレンジする活力

みささ村地域協議会会長

藤井博美



みささ村の地域協議会は、9つの集落と2つの事業所区で構成されており、地域振興部、福祉厚生部、公民館部の部会を設けてそれぞれ活動を行っている。

地域に三朝温泉が含まれているので、事業は観光的な事業となるのはやむを得ない。

会長は区長の互選で現在3年目に入っているが、感じることは集落の事情を前に出せば角が立つ、後ろに引

ば冒険ができないで流れて行く。どうも地域がまとまるためには相当の技と熱意が必要なようだ。

今あるもの、例えばスポーツや季節の祭りや文化交流や各種運動や清掃活動などは大事な事業であるけれど、これから目指すものをもっと考えてみたいと思う。

よくヒト・モノ・カネと言われるが、モノはこれから目指すもの、人はそれらを実行していく人が要る、カネは財源であり、財源には交付金などの頂く金と自ら稼ぐ金があるが、関心は後者の方で地域が自主自立を目指せば必要なことである。

それには行政のノウハウと議会の協力が必要になる。

どうも今まで議員と住民はお互いに圧力みたいなものを感じるのか、上手く連携がとれていなかったような気がする。

もっと話し合う機会を増やして一緒に活力ある地域にしていきたいものだ。

【議案に対する賛否】

議案番号	議員名 (議席順)	石田恭二	吉田道明	池田雅俊	能見貞明	中村貴美代	山口博	清水成眞	藤井克孝	福田茂樹	平井満博	牧田武文	山田道治	結果
町長提出議案名														
(5月臨時議会)														
48	専決処分の承認について (平成26年度三朝町一般会計補正予算 (第11号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	専決処分の承認について (三朝町国民健康保険税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	専決処分の承認について (三朝町税条例等の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	平成27年度三朝町一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	三朝町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
(6月定例会)														
53	平成27年度三朝町一般会計補正予算 (第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	平成27年度三朝町水道事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55	笑顔いっぱい子育て支援のまち宣言について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
56	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。 ※山田道治議長を除く11名の賛否状況です。

【陳情】 6月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
NHK受信料の全世帯支払い義務化に反対する意見書の提出についての陳情	倉吉市 足羽 佑太	趣旨採択	陳情の趣旨は理解できる。
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 三朝町職員労働組合	採択 意見書提出	地方自治体の担う役割は年々増加しており、これに見合う地方財政を確立する必要がある。
集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」に反対するよう求める陳情	憲法改悪反対鳥取県共同センター	不採択	今回の平和安全法制は、従来の憲法解釈を逸脱せず、安全保障環境の変化に応じて必要な変更を加えたものである。

おむすび ちやひつひつ

梅雨の真っ盛り、三朝のあちこちから、蛍の話が上がっている。例年より多くの蛍が、多くの場所での美しい光を輝かせている。自然の力で増えた蛍。町民の手によって増えた蛍。いずれにしても、その光を見るときがなごむのは、私だけだろうか。

螢二十日に蟬三日。
短い一生の螢。螢を見つけた時、「あっ、螢だ」このフレーズが必ず出てくる。生まれて来てくれて「ありがとう」。一生懸命光ってくれて「ありがとう」。心を落ち着かせてくれて「ありがとう」。

町内のあちこちで「ありがとう」の声がたくさん聞こえてくる。
(福田茂樹記)

発行責任者 山田道治
議長 山田道治
編集 山田道治
議会広報常任委員会
委員長 山口博
副委員長 池田雅俊
委員 福田茂樹
委員 清水成眞
委員 能見貞明